



Фестиваль российской культуры в Японии-2025



ヴァイオリン

2015第15回チャイコフスキー記念
国際コンクール(モスクワ)第3位
パーヴェル・ミリュコフ

ロシア文化フェスティバル オープニングコンサート

サンクトペテルブルク音楽会館派遣 日露合同公演



ヴァイオリン

2002年チャイコフスキー記念
国際コンクール(モスクワ)最高位受賞
川久保賜紀

フルート

2020年ウィーン国際
音楽コンクール(オーストリア)優勝
ピョートル・フドノゴフ

Совместный концерт российских солистов от Санкт-Петербургского Дома музыки
с японскими солистами, посвященный 170-летию со дня подписания «Симодского трактата» 1855 г.

—1855年日露和親条約170周年記念—

■ストラヴィンスキー：バレエ「ペトルーシュカからの3楽章」
ロシアの踊りペトルーシュカの部屋 謝肉祭

ピアノ：A・クリュチコ

■アリアビエフ：ナイチンゲール

フルート：P・フドノゴフ／ピアノ：A・クリュチコ

■プロコフィエフ：フルートソナタop.94より第2楽章スケルツォ

ヴァイオリン：P・ミリュコフ／ピアノ：A・クリュチコ

■チャイコフスキー：ワルツ・スケルツォ op.34

■プロコフィエフ：カンタータ「アレクサンダー・ネフスキー」より第6曲「死人の野原」 メゾ・ソプラノ：坂本朱／ピアノ：長尾洋史

■武満徹：死んだ男の残したものは／小さな空／翼

ヴァイオリン：川久保賜紀／ピアノ：高橋優介

■ストラヴィンスキー：イタリア組曲

■チャイコフスキー：メロディ

ピアノ：奥井紫麻

■ラフマニノフ：プレリュード op.23 No.2、4／「音の絵」op.39 No.1、8、9

*プログラム、出演者、演奏順は予告なく変更になる可能性があります。ご了承ください。

ピアノ

2022年ラフマニノフ記念
国際コンクール(モスクワ)優勝
アレクサンドル・クリュチコ

2025年 4月21日(日) 開演18:30(開場18:00) 銀座ブロッサム中央会館

東京メトロ有楽町線「新富町」1番出口徒歩1分

チケット・問合せ：ロシアン・アーツ ☎03-5919-1051 (平日11:00~17:00 / e-mail: russian-arts@e-mail.jp)

主催／ロシア文化フェスティバル組織委員会&ロシアン・アーツ

後援／ロシア連邦外務省、ロシア連邦文化省、駐日ロシア連邦大使館、ロシア連邦文化協力庁、日露協会、INARTEX

協力／サンクトペテルブルク音楽会館

声楽

トーティ・ダル・モンテ国際声楽コンクール優勝
ベッリーニ国際音楽コンクール優勝

坂本朱

ピアノ

2015年第1回ウクライナ・モスクワ
国際ピアノコンクール(ジュニア)第1位
奥井紫麻

出演者プロフィール

ロシア文化フェスティバル 2025 IN JAPAN

オープニングコンサート

パーヴェル・ミリュコフ【ヴァイオリン】



1984年ベルミ生まれ。ベルミ市児童音楽学校№1、モスクワ国立音楽院附属アカデミー音楽カレッジ卒業（ロシア人民芸術家ウラジーミル・イヴァノフ教授に師事）。モスクワ国立音楽院で同教授に師事し、2012年には同学大学院修了。オーストリアのウィーン音楽院で学びを続ける（ボリス・クシュニル教授に師事）。2016年からはモスクワ国立音楽院ヴァイオリン講座講師。2008年第3回ダヴィド・オイストラフ記念国際コンクール（モスクワ）第2位、トリオ「Con Spirito」の一員として国際コンクール「Vibrate」（パリ）優勝、国際ヴァイオリンコンクール（アスタナ）グランプリ受賞。2010年第1回全ロシア音楽コンクール（モスクワ）第2位受賞。2012年第8回ソウル国際ヴァイオリンコンクール（韓国）第2位受賞、第8回アラム・ハチャトゥリヤン記念国際コンクール（アルメニア）優勝。2015年第15回チャイコフスキー記念国際コンクール（モスクワ）第3位。ヴァレリー・ゲルギエフ、ウラジーミル・フェドセーエフ、ユーリー・シモノフ、マクシム・フェドートフ、ミハイル・プレトニョフ、ロベルト・カネッティ、ヴァシーリイ・ペトレンコなどの指揮者、チャイコフスキー記念ボリショイ交響楽団、マリンスキー劇場管弦楽団、モスクワ・フィルハーモニー・アカデミー交響楽団などロシアの一流オーケストラと共演。2012年よりモスクワ・フィルハーモニー交響楽団ソリスト。

Павел Милуков

川久保陽紀【ヴァイオリン】



©Yuji Hori

2001年サラサーテ国際ヴァイオリン・コンクール優勝、2002年チャイコフスキー国際音楽コンクール・ヴァイオリン部門最高位受賞以来、クラシックから現代まで、幅広いレパートリーを手がけ、国内外でリーディングソリストとして活躍を続けている。若くして、ロサンジェルス・フィル、デトロイト響、ヒューストン響、シンシナティ響、ボルティモア響、サンフランシスコ響、クリーヴランド管など主要な北米オーケストラと共演し、豊富なステージ経験を積む。日本では1997年、チョン・ミョンファン指揮アジア・フィルのソリストとしてデビュー。同年、ニューヨークのモーストリー・モーツァルト・フェスティバル・オーケストラの日本ツアーに迎えられ、その飛躍的な成長と演奏活動に対して、リンカーンセンターより、エヴリー・フィッシャー賞を受賞。以後、日本主要オーケストラと共演を重ねる他、インバル指揮ベルリン響、K. ヤルヴィ指揮ウィーン・トーンキュンストラー管、ウラジーミル・フェドセーエフ指揮モスクワ放送交響楽団、ミハイル・プレトニョフ指揮ロシア・ナショナル管弦楽団などと共演し、高度な技術と作品の品位を尊ぶ深い音楽性に高い評価を得ている。2018年より桐朋学園大学院大学（富山校）教授に就任。5歳の時にヴァイオリンを始め、R.リブセット、D.ディレイ、川崎雅夫、ザハール・ブロン各氏に師事。

Tamaki Kawakubo

ピョートル・フドノゴフ【フルート】



1999年クラスノヤルスク生まれ。イヴァノフ＝ラドケヴィチ記念クラスノヤルスク芸術カレッジ卒業。フヴォノストフスキー記念シベリア国立芸術大学卒業（ロシア功労芸術家アナトーリイ・イヴァノフ教授に師事）。2023年より研究生（2023-2024年同教授に師事、2024年より功労芸術活動家ウラジーミル・クドリ教授に師事）。2020年第2回ウィーン国際音楽コンクール（オーストリア）優勝（金メダル）、2021年第6回ヨーロッパ音楽アカデミー国際フルートコンクール（ブルガリア）優勝、アントン・ルビンシュテイン記念国際オンラインコンクール（ドイツ、デュッセルドルフ）優勝。2023年第8回ヨーロッパ音楽アカデミー国際フルートコンクール（ブルガリア、ヴァルナ）優勝など多数。2011年より「New Name」財団奨学生。青年才能支援ロシア連邦大統領賞受賞（2015年）、2015年よりクラスノヤルスク・アカデミー交響楽団アーティスト、2018年より常任ソリスト、2020年よりオーケストラソリスト。2017年「Rotary International」コンクール入賞者として国際青年交響楽団（アメリカ、カリフォルニア）で研鑽を積む。サンクトペテルブルク国立アカデミー交響楽団、カーニンググランド室内楽オーケストラ、国立サンクトペテルブルク交響楽団「クラシカ」、マリンスキー劇場管弦楽団、クラスノヤルスクオペラバレエ劇場管弦楽団らと共演。

Пётр Худогов

坂本 朱【メゾ・ソプラノ】



©Akira Muto

東京藝術大学及び同大学院オペラ科修士課程修了。イタリア政府給費留学生としてジュゼッペ・ヴェルディ音楽院にて学ぶ。トーティ・ダル・モンテ及びベッリーニ国際音楽コンクールで優勝。オペラ出演は数多く「ナブッコ」、「セヴィリアの理髪師」、「カルメン」、「忠臣蔵」、「建・TAKERU」等、豊かな表現力と圧倒的な存在感で高く評価されている。オーケストラとの共演も数多く、テミルカーノフ/サンクトペテルブルク・フィルと「アレクサンドル・ネフスキー」（03年10月）、ホーネック/読売日響と「マラー：交響曲第3番」（04年1月）「ヤナーチェク：グラゴール・ミサ」（04年10月）、マーカル/チェコ・フィルと「第九」（04年11月）、アシュケナージ/EUユースオーケストラと「マラー：交響曲第2番」（08年8月）、ロジェストヴェンスキー/読売日響と「長崎」《日本初演》（09年11月）、マゼールが指揮をする全交響曲連続演奏会2010の第9（10年12月）、2014年1月にはテミルカーノフ指揮サンクトペテルブルク・フィルとマラーの「復活」で再び共演し、豊潤で深みのある声による歌唱は自在な表現力と圧倒的な存在感を示し好評を博した。イタリアと日本を拠点に、日本を代表する実力派メゾソプラノとして活躍。

Akemi Sakamoto

アレクサンドル・クリュチコ【ピアノ】



2000年モルドヴァ共和国サランスク市生まれ。ショパン記念モスクワ国立音楽演奏カレッジに学ぶ（講師セルゲイ・アルツィバシェフに師事）。パリのコルト記念高等音楽学校卒業（レナ・シェレシェフスカヤ教授に師事）。2021年よりモスクワ国立音楽院在学（ロシア功労芸術家パーヴェル・ネルセンシアン教授に師事）。年第6回ヴェラ・ロタル・シェフチェンコ記念国際ピアノコンクール（エカテリンブルグ）優勝、2017年第20回国際青年ピアノコンクール「Astana Piano Passion」（カザフスタン）優勝、第9回ナリマン・サビトフ記念国際音楽演奏家コンクール（ウファ）優勝、2018年第20回イル・ド・フランス国際ピアノコンクール（フランス、メゾン・ラフィット）優勝、第13回国際青年音楽コンクール（モスクワ）優勝、2019年第65回マリア・カナリス国際音楽コンクール第2位（スペイン、バルセロナ）、2020年第5回マンハッタン国際音楽コンクール（アメリカ、ニューヨーク）優勝、2022年第1回S・V・ラフマニノフ記念国際コンクール（モスクワ）優勝。ロシア・ナショナル交響楽団、スペイン・ラジオテレビ交響楽団、サンクトペテルブルク国立アカデミーカペラ交響楽団、ロストフ・アカデミー交響楽団、イルクーツク州立交響楽団などのオーケストラと共演。

Александр Ключко

奥井紫麻【ピアノ】



©Takahiro WATANABE

感性、歌心、技術の全てに恵まれた稀有な存在。5歳半でピアノを始め、7歳より故エレーナ・アシュケナージに師事。8歳でオーケストラと初共演し、12歳でゲルギエフ指揮マリンスキー劇場管弦楽団と共演。2019年10月にはモスクワ・ヴィルトゥオーゾ室内管弦楽団のヨーロッパ・ツアーのソリストに起用され、著名ホールにデビュー。各地のオーケストラとも多数共演し、これまでにロシア・ナショナル管弦楽団（ミハイル・プレトニョフ指揮）、ロシア・ナショナル・フィルハーモニー管弦楽団（ウラディーミル・スビヴァコフ指揮）他、日本では読売日本交響楽団（広上淳一指揮）、東京交響楽団（秋山和慶指揮）等と共演。2023年にグネーシン特別音楽学校のピアノ科を、特別表彰を受け、首席で卒業。現在ジュネーヴ高等音楽院でネルソン・ゲルナーに、グネーシン音楽大学でタチアナ・ゼリクマンに師事。2021年4月にモスクワのボリショイ劇場で行われた第3回プロフェッショナル音楽賞「BraVo」では「The Most Popular Classical Artist from the Partner Country」を受賞、2022年11月パデレフスキ国際ピアノコンクール入賞、ほか数々の賞を受賞。ウラディーミル・スビヴァコフ国際慈善基金、ロームミュージックファンデーション（2023年度）、International Piano Foundation Theo and Petra Lieven of Hamburg奨学生。

Shio Okui